



## 車検対応の電子制御音量可変マフラー ボタン操作でサウンドが3段階に!



### スイッチひとつで音量が3段階に変わる!

ドコドコ感とパンチのあるサウンドの音量を、ハンドル左にあるスイッチひとつで自在に変えることができる。モーターによるサイレンサー内部のバルブ制御で排気音が変わり、開閉バルブが全閉の時は純正ノーマルマフラーより静か。車検対応JMCA認定としている。



## JEKILL&HYDE

ジキル&ハイド  
オープン価格

■問:トライジャ TEL.072-970-3110  
<https://trijya.com/>

ドコドコと迫力のあるサウンドを、ノーマル並みの静かなサウンドに切り替えることができる電子制御音量可変マフラー。モーターでワイヤーを引き、マフラー内部のバルブを開閉することで音量が変わる仕組み。手元のスイッチを押すだけで、停車中でも走行しながらでも簡単に音量を3段階に変えることができる。

音を静かにしたいときはバルブをクローズ(全閉)にし、市街地などでは50%開きでほどほどに。迫力のサウンドを存分に楽しむことができるシチュエーションでは、100%オープン(全開)に使い分けできる。



The Jekill & Hyde社は、電子制御エキゾーストシステムの分野で最も急速に成長している製造業者およびサプライヤーで、世界で最高品質の電子制御エキゾーストシステムを製造。欧州型式認証を受けており CARB/EPA (アメリカ空気汚染基準当局) および TÜV (ドイツ技術監査協会) により検証されている。製品はドイツの技術とオランダの職人技の結晶だ。



50万円 でカスタム

外装のブラッシュUPで更に高まるカスタム感

ホームページに掲載されるオリジナルパーツを数えてみると、プレイアウト用だけでも160点、全体では436点もの数を誇るライジャだが、そのすべてがオリジナルであることもユーザーにとって嬉しい部分だろう。このコースで紹介するパーツにしても、やはり細かな配慮が行き届いたもので、フロントフェンダーロアリングキットなどはさり気なくカスタムのクオリティを高めるのにかなり効果的。こうした細かな箇所をツメることで車体の完成度が左右されることを知る同店らしいプロダクツだろう。無論、ショートフェンダーキットやテンスポイラー、インパクト大なる鞍着バーなどで現装のイメージを大きく変えることもカスタムの醍醐味である。



ショートフェンダーキット ¥250,500



鞍着バー 14インチナロー ¥99,000



フロントフェンダーロアリングキット ¥9,900

テンスポイラー ¥93,000



80万円 でカスタム

ヘビーなツアラーも電動補助輪で楽々&安心

ここでは人気のソフトテイル系モデルに焦点を当て、ライジャのカスタムメニューを紹介してきたが、最後はツアラーモデル用の電動補助輪をピックアップ。コイツは、いわば航空機でいうところの「ランディングギア」と呼べるパーツでハンドルに備えられたボタンひとつで収納可能なのだが、あればヘビーなツアラーモデルがかなり楽に取り回せるようになる。慣れに自信のない方や高齢化社会の中でもバイクを楽しむ為のこうしたプロダクツを推奨。ライナップに加える点もライジャが持つ強みだろう。予算的には少々値が高まるかもしれないが、安全を最優先するよりはむしろである。またここではツアラー編がりで前正の電動シートのアノコ抜き&デザインも紹介。こちらもオススメだ。



ツーリング系 電動補助輪 ¥523,600



取り付ければ乗り回す際の負担が楽になる電動補助輪は想像よりもかなりロココ落ちるパーツ。様々な箇所のライダーに対して安心を提供する姿勢もライジャらしい。



前正電動シートアノコ抜き カスタムシート加工 ¥300,000

文字どおり“ハイエンド”カスタムも得意分野



変換なハイエンドカスタム  
ネオチャッパラーやユーロスタイルなどハイテクなカスタムもライジャの得意分野。ランボルギーニをモチーフとした「ランベント」も名付けられたこの一台もスタイルは完璧。上々の走りを見せる。



トライジャといえばバグースタイル  
鉄上を走るだけの威風堂々としたインパクトを放つツーリングツアラー系モデルをベースにしたバグースタイルのカスタムもライジャが得意とするジャンル。このマシンがクオリティも高水準である。



スポーツスターも守備範囲  
トライジャといえばビッグフィンベースにしたカスタムの印象が強いのだが、じつはこうしたスポーツスターも得意とする分野。タンクやサセカバーの立体的な加工に特長が際立つ。

カユイ所に手が届く豊富なラインナップ

H-Dに欠かせない“カスタム”をテーマに全体で50ページオーバーの大ボリュームでお届けした今回の特集ですが、そのトリを飾るトライジャといえばハイエンドからライトカスタムまで広い守備範囲に定評があるショップ。千差万別・皆様の好みに対応するコト必ずデス!

プロがオススメするカスタムメニュー  
トライジャ編

取材協力:トライジャ TEL 072-970-3110 http://trijya.com/

30万円 でカスタム

M8ソフトテイルベースで欲しいパーツ達を具現化

ショーの会場で見ると憧れするハイエンドカスタムや絶大なインパクトを誇るバグースタイルなど、美観なマシン製作のイメージが強い大塚のトライジャだが、じつはユーザー目線の細かなパーツラインナップにも定評があるショップ。ここではM8のプレイアウトを題材にまずは30万円コースというメニューでパーツをピックアップして「欲しい」のだが、まさに「カユイ所に手が届く」ラインナップとなっており、中でも「ウインカーを交換した場合に見えてしまう穴を隠す為のドレスアップパーツ」である化粧プレートは「あんなになかったモノ」の典型。またヘッドライトを絶妙な位置に装着するステーや車輪対応のキジメ製NANOウインカー用マウント、純正タンク用ストレッチカバーやナンバーのサイドマウントキットなどを装着すれば車用の表情もかなり引き締まるのでオススメだ。同様の予算なら思い切って油圧サスの装着もありだろう。すべて車検対応だ。



ソロシートベース ¥62,700

ドラッグバーハンドル (670mm) ¥47,500

砲弾型ヘッドライトハウジング ¥57,800

NANOウインカーステー ¥8,800

ヘッドライトステー ¥25,500



リヤウインカー化粧プレート ¥5,500

エアクリーナーカバー純正対応 ¥47,300



M8 Softail用油圧サスペンション ¥250,800



タンクストレッチカバー ¥19,800



M8 ナンバーサイドマウントステー ¥49,700



436点ものラインナップを誇る豊富なパーツ群が強い

美しいペイントを施した上で車体の様々な箇所に施されたギミックの数々が盛り込まれたハイエンド・カスタム……大阪に拠点を置くトライジャといえば、ショーの会場や雑誌を始めるという媒体に登場する車両から、冒頭で述べたような最高峰のマシンを手掛けるイメージを持つ方も多いだろうが、その実、今回のページで紹介するようなライトなカスタムメニューも得意分野。代表的岡本佳之氏といえは以前に本誌で掲載させて頂いたショップ紹介の記事の中でも「カスタムが好きすぎて」と同時に「自分が理想とするショップがなかったから」と創業の理由を語っていたが、ハイエンドからバグー、そしてライトカスタムなどあらゆる顧客層に対応する守備範囲の広さは、あくまでもユーザー自覚を忘れずに、そんな岡本の姿勢の随分がもたらした。

実際、トライジャがオリジナルでリリースするパーツはこの企画の為にカウントしてみたのだが、その数は何と436点。スポーツスターやダイナ、ツアラーモデルにソフトテイルなどH-Dの大船に沿って揃っているのはもちろん、フレーム形状が特殊な、エッジ、カスタムペイントとしてお洒落されがちなソフトテイルロッカー用のパーツなども細かく用意され、多くのユーザーの要望に応えるものとなっているのだが、中でも同店が得意とするプレイアウト用のパーツは160点を数え、単一車種用とは信じがたいラインナップを誇っているのも驚くべき事実だ。

ちなみにその体制を具現化する為にトライジャでは通常のショップのような

実作業を担当するメカニックの他、車庫のペインターやアシスタント、CADプログラマーやシート製作の職人までもが常駐し、業務が行われているのだが、その規模はショップというよりは、むしろメーカーのレベルに近いといっても差し障りない。実際にこのページで紹介するパーツも、コンパルの車両に3Dスキャナーを当て、コンピュータ上でデータ化されて生産されたパーツもあるのだが、すべての製品のクオリティは良い意味でマスポロダクツ、レベルのソレとなっている。そんな高規格のパーツで創り上げられるカスタムが、悪からハズさないだろう。

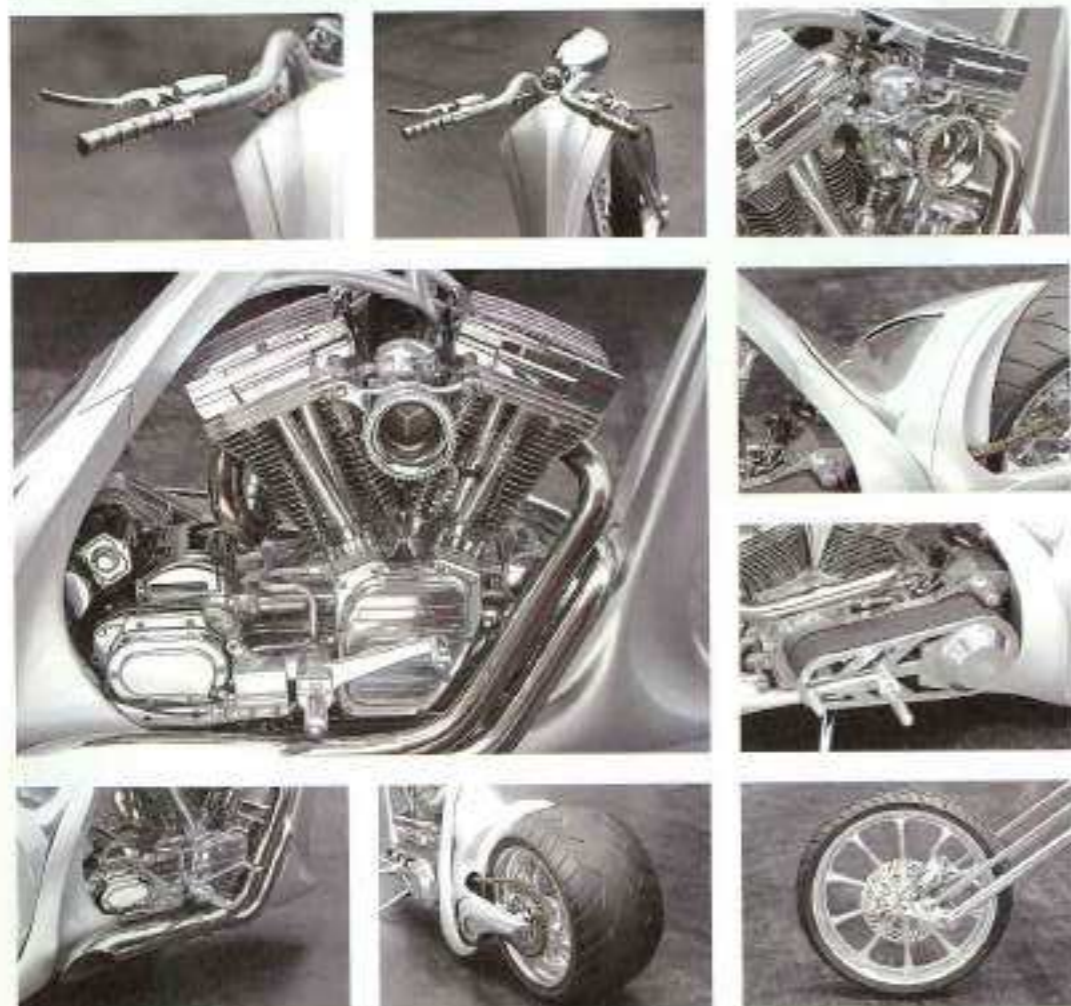
無論、ユーザーのオーダーによっては単純な技術を持つメカニックがハンドメイドでファンオパーツを生み出し、夢のようなカスタムを手掛けることが出来るのもトライジャの強みである。

十人十色という言葉があるのとおり、100人いれば100とおりに、自分だけのマシンを手に入れることが出来るのもトライジャをベースにしたカスタムの魅力だが、何よりトライジャの守備範囲の広さがそれを証明しているといえるだろう。コイツを乗りこなさなきゃいけない。



1999年にトライジャを創業して以来、数多くのカスタム車デザイン、先み出してきた代表的岡本佳之氏だが、じつはこのページで紹介したようなストックドローを追加したカスタムも得意なメニュー。同店の豊富なパーツラインナップもユーザー目線に合わせた姿勢の随分だ。





## Excalibur

エクスカリバー

トライジャ  
TEL.072-970-3110  
<http://trijax.com/>

### 驚愕のクオリティを見せる純正ベースの合法カスタム

ストロークより大幅に延長されたフロントフォークや、それに合わせてフレームにストレッチが施されたチョップバーと聞いて、このページを読んでいる貴方なら一体どんなイメージを思い浮かべるだろうか？ たゞそれは「カッコいいけど乗り辛そう」やら「予算がかなり多い」などのネガティブなイメージを抱く方も中には多いと思うが、正直、特によく耳にするのが「車検に通るか」や「合法か否か」という部分。確かに生まれた背景から考えても、ある意味、法律というものを超越した「ブレイク」な部分をチョップバーという乗り物は持ち合わせているのだが、しかし、いままでもチョップバーの世界の住人自身が「マイノリティでアウトローな存在」と聞き流るばかりでは、この先の未来、きっとこのカルチャーが続くことはないだろう。

無論、そうした中、あくまでも「法規に基づいて」チョップバービルドに尽力するビルダーも存在するのだが、大阪のトライジャが製作したこの「エクスカリバー」と名付けられた一台にしても然り、2006年のヘリテイジスプリングカーをベースにし、正しく改造申請の手順を踏み、合法的にカスタムが施されたこのマシンには、たとえば健影を強調した車体のボデーワークや細部の造り込みなど見るべき箇所が山ほどあるのだが、何より評価すべきは公道でのテストを幾度となく繰り返して、車体の強度とディメンションが正しく追求されている点だろう。まさに「それこそがプロとしての矜持」。

かつて欧州を平定したアーサー王が手にした伝説の聖剣……その名を冠したこのマシンには裏街道ではなく王道のものと、チョップバーの未来を切り拓いていく気概が込められているのかもしれない。

2006年式PLS150Cヘリテイジスプリングカーをベースにしているものの純正をお楽しみしたことが無い方も既に驚愕のクオリティを見せつけるこのマシン。車体の立体的な陰影を強調する為、あえてソリッドなメタリックにペイントされた車体は改造申請済みの台車で、ストレッチされたフレームやドラゴンスプリングもあくまでも法規に則ったもの。クランクやプレーキはもとよりフェールラインに至るまで「隠し」が施されたディテール等にも裏そのクオリティが表れている。ハンドルには高品質のインジケーターランプやLEDタイプのダイヤルに合わせ、ワンオフで製作された出先ドライブライト、スイングアームに内蔵されたウインカーやターボランプなどの灯火類など、すべてに於いて妥協と呼べる要素が、あらゆる意味で見つからないのは流石である。これぞプロの仕事だろう。





Dr. Tekill & Mr. Hyde

THE EXHAUST

JMCA 政府認証マフラー

国土交通省 事前認証制度 ガス検・騒音検査等に事前合格

21. Minimal Forward Wide Brushed Headerset for Softail 2018up
Twenty-One Brushed Stainless Steel
4.7 Slashcut Bronze

車検対応の音量可変式スリップオンマフラー 電子制御エキゾーストシステム

Table with columns: Touring ファミリー, Trike ファミリー, Softail ファミリー, Sportster ファミリー, VROD ファミリー, CVO ファミリー. Lists motorcycle models and their corresponding muffler part numbers.

2021年以降のモデルも順次ガス検・騒音検査等を受け、JMCA取得をいたしております。

2021年4月現在

～大変申し訳ございません。直販は承っておりません、お近くの取扱店にお問い合わせください～

取扱店一覧 (順不同)

- List of motorcycle dealerships across Japan, including locations like MJM 札幌, MJM 函館, and various regional branches.

- Continuation of dealership list, covering areas like Hokkaido, Tohoku, Kanto, and Kansai.

スマホで簡単お見積り



https://configurator.jekillandhyde.com/jp

ジキル&ハイド JAPAN のページへGo! https://configurator.jekillandhyde.com/jp 自動見積システム

<お問合わせ>株式会社ナグラス TEL:072-970-3110 FAX:072-972-6114 Mail:navras@opal.ocn.ne.jp